

藤田記念庭園の夜間開園

ライトアップで幻想的な世界が広がります。秋の夜長に庭園を散策してみませんか。

▼とき 11月5日(金)・6日(土)の午後5時～8時

▼ところ 洋館(藤田謙一資料室)、高台部、低地部

▼入園料 無料

問藤田記念庭園(上白銀町、☎ 37-5525)

津軽塗技術保存会
秋の特別発表会

津軽塗の技術を保持する団体である「津軽塗技術保存会」が、秋の特別発表会を開催します。

▼とき 11月5日(金)～7日(日)の午前10時～午後3時

▼ところ 旧紺屋町消防屯所(紺屋町)

▼内容 津軽塗技術保存会制作作品等の展示、津軽塗に関する

解説パネルの展示など

▼観覧料 無料

※事前の申し込みは不要。

問津軽塗技術保存会事務局(文化財課内、☎ 82-1642)

第38回「おはなしと読み
聞かせ講習会」

JPIC 読書アドバイザーによる絵本の読み聞かせの実技や実演方法の講習、図書館での読み聞かせボランティアの活動を紹

介します。

▼とき 11月6日(土) 午前10時～正午

▼ところ 弘前図書館(下白銀町)2階視聴覚室

▼講師 高嶋敬子さん

▼対象 図書館での読み聞かせボランティアを始めてみたい人、読み聞かせのスキルアップをしたい人=20人

▼参加料 無料

▼持ち物 絵本1冊、筆記用具

▼申し込み方法 電話か図書館受付で申し込みを。

問弘前図書館(☎ 32-3794)

市民防災メディカルラリー
2021 in Hirosaki

消防団を中核とした地域防災力の充実強化に向けて、体験・競技型の消防活動などを通して市民の防災意識を高めるとともに、消防団の入団促進を目的に開催します。

▼とき 11月7日(日) 午前10時～午後3時

▼ところ イオンタウン弘前樋の口(樋の口2丁目)

▼内容 ①トリアージ(ケガ人を重傷度や治療緊急度に応じて振り分け)、②ファーストエイド(ケガ人への応急手当)、③避難所運営(避難所で起こる出来事の模擬体験)、④がれきの下のけが人の救助、⑤消防団PRブース(消防ポンプ車、子ども消防車、まとい、パネル等の展示)

問防災課消防団係(☎ 40-7117)

弘前医療福祉大学
短期大学部介護フェスタ

▼とき 11月13日(土)・14日(日)の午前10時～午後4時

▼ところ イオンタウン弘前樋

の口(樋の口2丁目)ライトオン前特設会場

▼内容 若手介護福祉士と介護福祉学生によるトークセッション(13日の午後1時～2時)、ミニ講座「介護と防災を考える」(14日の午後1時～1時30分)、福祉〇×クイズ、介護レクリエーション体験ほか

▼参加料 無料

※事前の申し込みは不要。

問弘前医療福祉大学短期大学部(☎ 27-1001)

文化グループ作品展示発表会

こぎん刺しやパッチワーク、刺しゅう、尺八などのグループが日頃の活動成果を発表します。

▼とき 11月13日(土)、①午前10時～午後3時30分(作品展示)、②午後1時30分～3時(ステージ発表)

▼ところ ヒロロ(駅前町)4階市民文化交流館ホール

▼入場料 無料

※参加グループなど詳細は中央公民館ホームページ(QRコード)で確認を。

問中央公民館(☎ 33-6561、火曜日は休み)

雪囲い実地体験会

植物園内でいろいろな縄の結び方や雪囲いなどを体験してみませんか。

▼とき 11月14日(日)、午前10時～11時30分(雨天決行)

▼ところ 弘前城植物園(弘前公園内)

▼定員 10人程度(先着順)

※事前の申し込みが必要。

▼参加料 無料

※ただし入園料が必要。

▼持ち物 手袋、長靴

※動きやすい服装で参加を。

問市みどりの協会(☎ 33-8733)

こどもの森11月の行事

【月例登山『晩秋の山ライオン岩ハイク』】

▼とき 11月21日(日)、午前9時30分～午後2時30分

▼参加料 無料

※事前の申し込みが必要。

▼持ち物 飲み物、昼食、着替え、雨具

問こどもの森ビジターセンター(坂元字山元、久渡寺境内、☎ 88-3923) / 市みどりの協会(☎ 33-8733)

旧弘前藩藩校稽古館
資料調査報告会

東奥義塾高校が所蔵の本を中心に、旧弘前藩藩校稽古館資料の調査研究での新しい成果を発表します。

▼とき 11月21日(日) 午後1時～4時

▼ところ 弘前大学(文京町)人文社会科学部棟4階多目的ホール

※Zoomによるオンライン配信もあり。

▼定員 40人(会場視聴者/先着順)

※オンライン視聴は定員なし。

▼参加料 無料

▼申し込み方法 電話かEメールで申し込みを。

※オンラインでの参加を希望する場合はEメールでの申し込みを。

問弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター(古川さん、☎ 39-3198、E irrc@hirosaki-u.ac.jp)

市立博物館企画展3

きもの

～装いの美・美は喜び～

この紋所が目に入らぬか!!
～徳川家ゆかりのきもの～

現在展示中の納戸葵紋小袖(江戸東京博物館所蔵)は、葵紋のデザインから9代将軍の徳川家重(いえしげ)・10代家治(いえはる)・11代家斉(いえなり)によって使用されたものと考えられています。その他、将軍家から大名に下賜(かし)されたと思われる葵紋入りの「風景模様帷子」(女子美術大学美術館所蔵)も展示しています。

この機会にきものの歴史に触れ、装いの美を堪能しませんか。

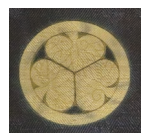
問市立博物館(下白銀町、☎ 35-0700)



▲【前期展示】納戸葵紋小袖(江戸後期、江戸東京博物館蔵)



▲【前期展示】風景模様帷子(江戸後期、九鬼家伝来品、女子美術大学美術館蔵)



◀ 納戸葵紋小袖の葵紋部分



◀ 風景模様帷子の葵紋部分

●高岡の森弘前藩歴史館との共通券

一般=420円、高校生・大学生=210円、小・中学生=140円

※障がい者、65歳以上の市民、市内の小・中学生や外国人留学生、ひろさき多子家族応援パスポートを持参の人は無料。年齢や住所を確認できるものの提示を。

▼常設展 「ひろさきの歴史と文化 ～原始から近現代へ～」

—関連イベント(Instagramで開催)—

デジタルKIMONO ミュージアム

～和装で来館しませんか～

会期中、スタッフが撮影する和装姿の写真を市立博物館公式Instagramに掲載することに同意すると、観覧料が無料になります。

